

「自分たちの手で」 ハイク道復旧

箕面・パトロール隊 台風被害着手

9月の台風21号の影響で通行不能になった箕面市の箕面公園のハイキングコースを歩けるようにしようと、同市のNPO法人「箕面の山パトロール隊」が、山道の修復に取り組んでいる。主な13ルートのうち、ほぼ半分が再び通れるようになり、今月中の完全復旧をめざす。

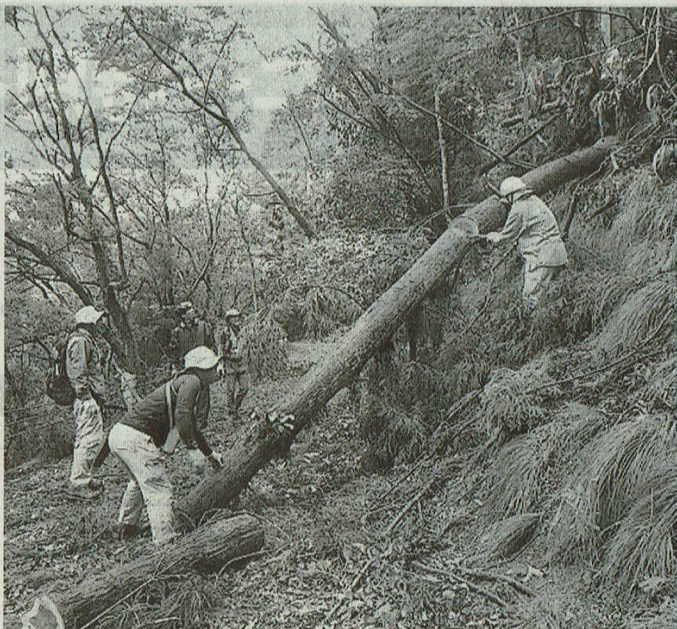
不通解消 残り半分

箕面の山パトロール隊は2004年8月、箕面の山の美化活動を進めようと市民有志で設立された。現在のメンバーは約40人。定期的なクリーンハイキングをはじめ、不法投棄の対策活動や子どもハイキングなどを実施している。これまでに延べ約3万人が活動に参加し、146トのごみを回収してきた。

台風21号によって、箕面公園の主要なハイキングコースの13ルートは至る所で木が倒れ、すべてのルートが通行不能になった。箕面の山パトロール隊は9月中旬から今月上旬までに計7回、延べ100人以上が参加して、山道の修復作業にあたってきた。

6回目の9月27日には、隊員12人とサポーター15人が参加。箕面川ダム周辺などの3ルートで作業にあたった。倒木が道を覆っていた現場では、まず枝を取りのぞき、太い幹をノコギリで手際よく切り分けて通れるようにしていた。

副隊長の森岡常雄さん(70)は「被害が広範囲にわ



倒木を撤去する「箕面の山パトロール隊」のメンバーたち。同隊提供

たり、行政による作業だけでは限界がある。自分たちの道は自分たちで元通りにする。多くの人が再びハイキングを楽しめるようにしたい」と話す。今月末まで作業を続けて完全復旧をめざす。サポーターとしての協力も受け付けている。問い合わせは箕面の山パトロール隊・滝道事務所(070・5040・9734)。

(永井啓吾)